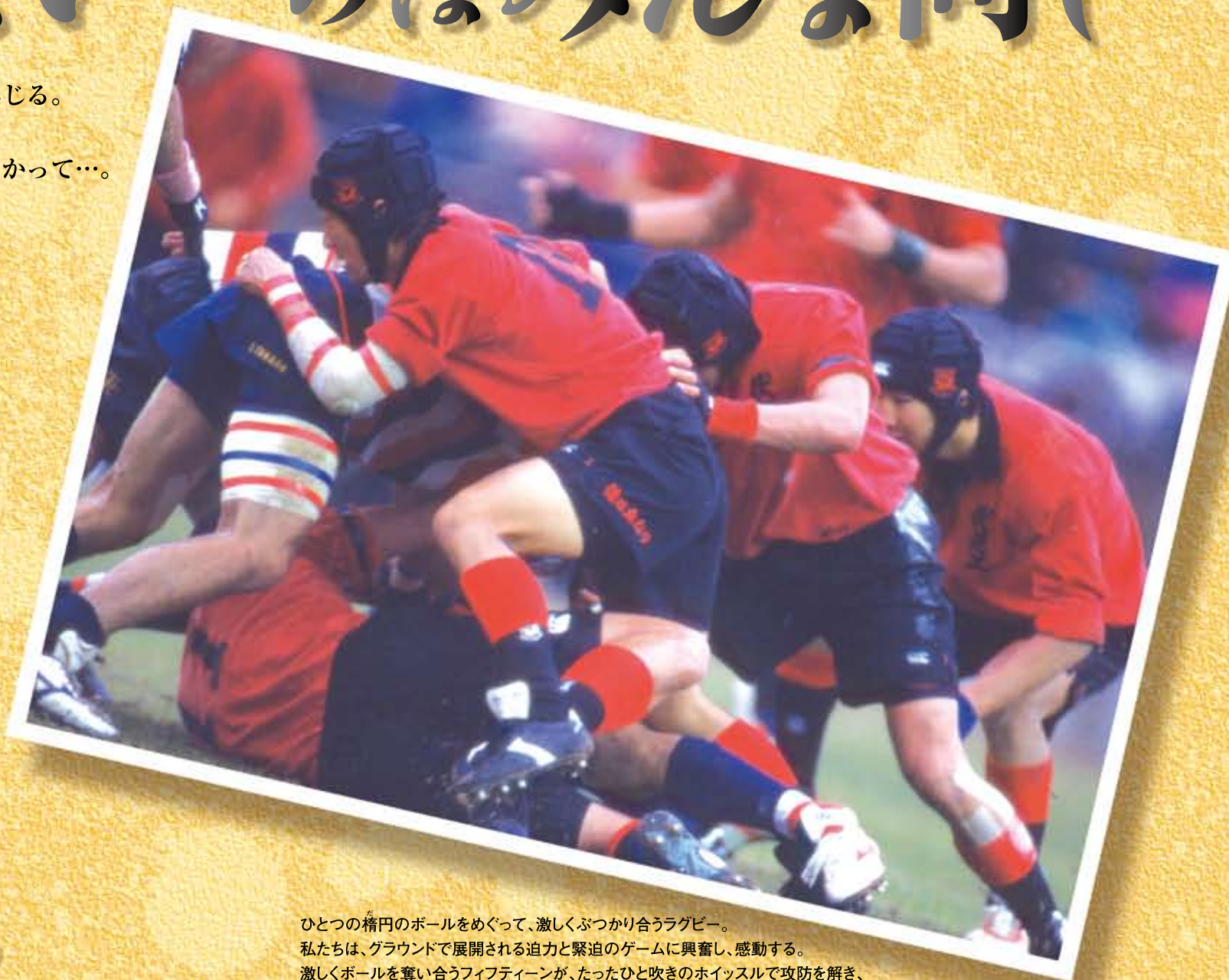


縛られたくない、のはみんな同じ

法やきまりというと、なんだか私たちが縛るだけのもののように感じる。
だから、規則だとかきまりといわれると、どこか反発したくなる。
自由な世の中なんだから、他人に迷惑をかけなけりゃいいじゃないかって…。



もしもきまりがなかったら…

社会の秩序と規律を高めるために

ルールとは なんのためにあるのだろう？

法やきまりは、スポーツのルールと同じこと。たとえば、ボールの単なる奪い合いとなったラグビーは、競技として成り立たないばかりか、観戦している私たちに感動を与えてくれないだろう。

ラグビーでも、バレーボールでも、サッカーでも、野球でも、これは、スポーツ競技すべてに共通する。競技の中でルールはだれもが守るべきものとして定められ、もしこれに反する行為があったなら、失格となり、罰せられる。

世の中に目を転じれば、法やきまりは、つまり社会のルール。スポーツのルールと同じことなのだ。



だから
きまりがなかったら…

🌍 世の中に法やきまりがなかったらどうなるとあなたは考えますか？

社会科で

年 月 日

法やきまりについて 学んだこと、考えたこと

法やきまりについて学んだことや、いろいろな場面で知ったことをまとめ、感じたこと、考えたことを記録しておきましょう。

道徳の時間で

年 月 日

_____で

年 月 日

たとえば、やるべきことをやらずに自分の権利だけを主張する人がいたとしたら、あなたはどのように感じるだろうか。

あるいは、他人の権利は認めないのに、自分の権利を押し通そうとする人がいたら、あなたは、なんと言うだろうか。

このとき、あなたが感じたこと、言おうとしたことに、「権利と義務」について考えるヒントがあるようだ。

権利と義務ってなんだろう？

